

平成20年度 第1回千葉市立博物館協議会議事録

- 1 日時：平成20年7月10日（木） 午前10時30分～午前12時00分
- 2 場所：千葉市立郷土博物館 1階 講座室
- 3 出席者：（委員） 委員長他5名出席（10名中6名）
委員長 岡本東三
副委員長 西川明
委員 鷹野敏明、高山博子、西本豊弘、福田豊彦
（事務局）
生涯学習部長 河野正行
生涯学習振興課 本庄賢一、倉田義広
加曽利貝塚博物館 伊場和良、村田六郎太、飛田正美
郷土博物館 丸井敬司、殿塚昭彦、若菜三郎、伊原茂行

4 議事

- (1) 加曽利貝塚博物館の整備について
- (2) 平成20年度博物館事業について
ア 加曽利貝塚博物館
イ 郷土博物館
- (3) その他
ア 武田宗久氏コレクション整備について
イ 郷土博物館整備事業について

5 議事の概要

- (1) 加曽利貝塚博物館の整備について
加曽利貝塚博物館の整備について説明し、委員より意見を受ける。
- (2) 平成20年度博物館事業について
両博物館における平成20年度の事業計画を各事業ごとに説明し、委員より意見を受ける。
- (3) その他
加曽利貝塚博物館から「武田宗久氏コレクション整備について」、郷土博物館から、「郷土博物館整備について」説明して、委員より意見を受ける。

6 会議経過

午前10時30分、委員10名中6名着席、青木委員・池田委員・武田委員・千代委員は欠席。

殿塚郷土博物館副館長から、千葉市立博物館協議会運営規則第3条の規定により、この会議が成立していることが告げられ開会した。

岡本委員長挨拶の後、河野生涯学習部長が教育委員会挨拶をした。

岡本委員長を議長として、議事が進行した。

議事(1) 加曽利貝塚博物館の整備について

< 説 明 >

倉田主幹 加曽利貝塚博物館の天井材交換に伴う工事について、生涯学習振興課倉田主幹より説明する。

< 質疑応答 >

岡本委員長 アスベスト除去という緊急性を持つ整備事業について説明がありましたが、これについては、当然事業計画に絡んできて、9月以降事業については継続するが、展示部分については休館せざるを得ない状況です。予算上のことなど、いろいろありますが、後半休館ということでご了承いただきたい。

議事(2) 平成20年度博物館事業について

< 説 明 >

飛田・若菜係長 はじめに、加曽利貝塚博物館における維持管理事業・資料収集事業・調査研究事業・展示事業・教育普及事業・博物館整備事業・その他の事業について飛田係長より説明し、引き続き、郷土博物館における維持管理事業・資料収集事業・調査研究事業・展示事業・教育普及事業・市史編纂事業・その他の事業について若菜係長より説明する。

< 質疑応答 >

岡本委員長 事務局より説明がありましたが、ご質問、ご意見はありませんか。

西本委員 アスベスト工事中、通常の年間事業は行い、展示をストップするのですか。その間、展示関係は何か対応するのですか。

飛田係長 展示室のみ閉鎖し、通常の事業は実施します。

岡本委員長 企画展は無理ですが、作品展は11月ですが。

飛田係長 土器づくり事業は、同好会と共催で実施しています。作品の展示については、代官屋敷もありますので、同好会とつめて検討します。

西本委員 ホームページは公開していますか。データの提供等はどうですか。

飛田係長 ホームページは公開していますが、資料等の提供は委員会の許可が必要なため、やっておりません。

西本委員 インターネットでいろいろな博物館のホームページを見たり、データを調べていますが大変便利です。アメリカなどのホームページでは写真等の膨大な資料を見ることができる。加曽利は、貝塚で有名なので代表的な資料を掲載して、展示を見学にこれない人に提供すると良い。

飛田係長 ホームページでは、施設紹介をしていますが、今後、代表的資料の掲載も考え

ていきたい。

西本委員 私どもでは、ホームページで資料を公開しており、それを指定することにより貸出できるようにしている。

飛田係長 そのような方向でできればと考えています。

岡本委員長 一遍にはできないが、データの公開等、活用できるようなデータ提供が必要だと思いますので、ご配慮をお願いします。

村田副館長 既存のアナログデータを含め遺物の写真等のデジタル化を随時進めており、情報公開となれば、時間をかけずに移行できるように処理しています。整理していくなかで考えいきたい。

岡本委員長 連携をしながら、どのようなことができるのかお考え願いたい。
予算が前年に対しマイナスになっているが、一律 %マイナスという予算ですか。ぎりぎりの予算になってきて、若干問題だと思えます。

河野部長 ここずっとシーリングがかかっています。教育委員会では17%のシーリングがかけられましたが、全体に何パーセントカットではなく、その事業の重要性を考えて、それぞれシーリングしています。この7・8年そのようになっています。これ以上の削減は、難しい状況ですので、一つ一つの事業を精査していきたい。

岡本委員長 予算措置と関連して、博物館行政そのものと、美術館・科学館が分断されたようになっているが、一体化した文化行政・博物館行政を考えていくと、美術館もその中に入れる必要があります。それらの連携や再編成についての考えがありますか。また、指定管理者制度の導入がおきているが、郷土・加曽利は直営で運営している、全体的なその辺の関連、将来的な展望はどのように考えていますか。

本庄課長 郷土博物館に昨年7月までございましたプラネタリウムは、昨年10月オープンした科学館に事業を移管しました。郷土博物館・加曽利貝塚博物館・美術館・科学館の連携につきましては、中心街の連携を図るということで、市としてはミュージアムトライアングル構想として、郷土博物館・美術館・科学館が相互に連携をしながら、相乗効果を狙っての連携・推進を考えています。

岡本委員長 一体化し、相互協力して進めていきたいということですね。

本庄課長 現時点では、具体的には決定していませんが、学校施設等とも情報交換や連携をしていきたいと思っています。

- 岡本委員長 予算がシーリングで減っていく中で、どのような文化行政の発信をしていくのか、将来展望や方向性などを、行政サイドで今のうちから考えていくことが必要ではないかと思います。
- 福田委員 郷土博物館の鎧づくり講座の鎧を拝見しましたが、どうせやるなら大鎧を中心に考えてやっていただきたい。大鎧以外の鎧は、左右対称となっています。古代も近現代もそうです。ところが、大鎧は左右非対称となっており国際性がなく独特で、これが基となって近世具足が成立しています。つまり、これを着るには子どものころから右利きにしなければならなかった。それを理解させることで、日本独特な文化として認識させることができます。大鎧が非対称であることを知らない人が大半なので、こんなに違うのかと知ることが必要です。子どものころから、日本独特な部分がどこにあるのか、なぜ生まれたのか考える必要があります。文化のくせがどこにあるのか、注意していただきたい。
- 西川委員 亥鼻周辺の博物館のネットワークについて、科学館・美術館・郷土博物館3館の共通券、割引券の発行を考えたらどうでしょう。
- 本庄課長 3館共通の券は今はないが、美術館と科学館は半券提示で2割引きして、市民が利用しやすくしています。
- 岡本委員長 指定管理者制度になっているから、そういうことができるということですか。
- 本庄課長 郷土博物館は市直営で、美術館・科学館は指定管理者制度、その中でお互いに情報交換をしながら、どういった方法で市民により多く利用できるか考えております。郷土博物館は、条例の関係もあり、今後検討していきます。

議事(3)その他

< 説明 >

- 飛田係長 加曽利貝塚博物館における「武田宗久氏コレクション整備について」飛田係長より説明する。

< 質疑応答 >

- 岡本委員長 武田宗久氏コレクション整備について、特別の予算はあるのですか。
- 飛田係長 特別にはありません。
- 岡本委員長 千葉市にとって重要な資料もあるので、シーリングが掛かっている中でも、先生の事業を継承するだけでなく、市民の財産ですから、それについて遺族から寄贈・寄託を受けた資料を、きちんとした形でご安心していただけるようにすることが最低必要だと思います。
- 飛田係長 この整備は、調査研究事業の予算枠の中で行います。経費については、写真を

撮るとか、台帳を作ったりは職員が行うので、それ程予算がなくてもできます。

岡本委員長 この予算、 円で管理していくと、きちっと示せば良いと思います。気持ち良く寄贈・寄託できると思います。

村田副館長 今年、目録を作成して、整理を進めていきます。書簡や写真の整理は時間がかかると思います。

岡本委員長 将来、整理ができた段階で「武田コレクション」の展示をし、市民に還元したら良い。

< 説 明 >

若菜係長 郷土博物館における「郷土博物館整備事業について」若菜係長より説明する。

< 質疑応答 >

岡本委員長 展示プランは、郷土博物館の職員が行うのですか。

若菜係長 展示プランは、館内で検討します。

西川委員 17頁の地形模型は古代、19頁の模型は近世千葉町の地形模型、そういう2つの模型ですね。子どもたちにとって、関心の持てる内容だと思います。各階は、平面図で分かります。4階は、プラネタリウムの後なので、天井はかなり高いですよ、平面的には分かりますが、この高さを利用した立体化した展示ができないか。戦前の市民の生活、祭礼とか千葉神社の当時の祭りが分かるような、あつと言うものが立体的に表現できればと思います。

丸井館長 地形模型は、亥鼻を含む中央地区のもので、近世千葉町の移り変わりが分かるものと考えています。祭り等に関するものは、近世を展示する3階を考えていますが、もう少し検討していきたい。

岡本委員長 4階は、どの位の高さですか。

丸井館長 普通の展示室より少し高くなります。

岡本委員長 天井をはるということですか。高さが低くなりますね。天井を覆ってしまうのが良いか、高さを利用するのが良いのか、もう少し検討していただきたい。

鷹野委員 天井の上はどうなりますか。

丸井館長 天井は、7mありますが、展示室としての利用になるので、天井を途中で覆います。

福田委員 高さを利用して、ちょっと大きな講座室のようなものが、できませんか。

- 岡本委員長 縦割りで、屋根裏部屋ができないのか、耐震構造上どうでしょうか。
- 丸井館長 構造上できません。もともと、それほど広くはないので、1～5階まで、連続した展示を念頭において有効利用を考え、また、現在の郷土博物館には体験学習コーナーがないので、4階に設定しました。月1回行なっている体験学習も大変人気があります。
- 岡本委員長 21年度改修工事を行なうとのことですが、この展示プランは今年度中に決定するのですか。
- 丸井館長 今年度3月までには、さらに詳しい検討を行います。
- 福田委員 この展示は、常設展示のように見えますが、それだけでいいのですか。大きな部屋に向くものも有ると思いますが。
- 丸井館長 2階は企画展示室で特別展を、各コーナーでは小さな企画展を行い、1階と3～5階は常設展で古代から現代までの展示を行います。
- 西本委員 全体予算が制約されている中で、一つの考えとして、天井が高いなら音楽の会場にすとか、あるいは企画展示をすとか。今の展示を変えるなら、明治・大正では子どもは来ません。変えるなら、一つはコンピューターで江戸時代の千葉の画像を復元する等、現代的発想でやるか、あそび空間としてやるのかどちらかにしたらいい。1・3・4・5階の同じような常設展は辛気臭い。明治時代は、ほとんど素通りする。子どもたちは、パソコンを利用してパッパッと操作して、昔の画像が見れるというならやるが、そうでないとうどうですかねえ。お金がないなら、それなりに、かけるならかけるように、どちらかにした方がよい。
- 岡本委員長 委員の意見を、取り入れられるものは取り込み、良いものを創ってもらいたい。今までと同じ博物館を創ってもどうですか、思い切ったメリハリも重要です。

議長から他の意見を求めたが、他に意見がなく質疑終了となった。最後に河野部長より、委員の貴重な意見に対しお礼を述べるとともに、加曾利貝塚博物館の発掘物をホームページへの掲載の件については、今後情報政策課と協議しながら進め、また郷土博物館リニューアルについては、予算取りを一生懸命やり、展示改修については、予算編成前に委員の方々の意見をいただきながら計画を進めていきたい旨述べて議事は終了した。